

























説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)
























様へ

月日	月 日	月 日	月 日～月 日
経過	治療開始日(入院日)	2日目	3～4日目
目標	川崎病の治療の流れがわかる 家族が経過を受け入れることができる	グロブリン治療後、熱が下がる 心臓超音波で冠動脈に異常がない アスピリンが飲める 免疫グロブリンの副作用が見られない	熱が37.5度以下である 心臓超音波で冠動脈に異常がない アスピリンが飲める 免疫グロブリンの副作用が見られない
検査	 採血 心臓超音波 心電図 胸部レントゲン	症状の経過に応じて適宜血液検査、心臓超音波、心電図等を行いません おおよそ 入院中に心電図と心臓超音波検査は2～3回します 	
食事	発熱その他の症状に応じて、無理せず食事をすすめてください		
	朝食は 自宅で	 	     
処置・観察	 朝、昼、夜に体温、脈拍、血圧 酸素飽和度を測定します リストバンドをします 心電図モニターを始めます	 発熱時には解熱剤を使用し、氷枕などを用意させていただきます 夜間も2時間置きに見回り、点滴の確認をさせていただきます お薬を飲むのが難しい時はお手伝いします アスピリンを服用しているため、出血しやすい状態です	
点滴・内服	 点滴をします (必要時) ★免疫グロブリンを投与します ★必要時ステロイドを投与します  アスピリンを1日3回 内服します 毎朝1日分のお薬をお渡しします	   	 
行動	点滴治療が行なわれている間は ベッドで安静に過ごしてください	症状の経過に応じて清拭、シャワーなどを実施します 清拭は月～金曜日の毎日、洗髪は月・水・金曜日に予定しています 着替えやタオル、シャンプーの準備をお願いします   ※ お子様から離れられる時は、必ずベッド柵を 最上段まで上げ、転倒・転落事故にご注意ください	
説明	 医師より説明 ・検査結果と入院後の治療計画 について  看護師より説明 ・入院生活について	入院中ご心配なことはいつでも医師、看護師にお聞きください	

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日
経過	5～6日目	7～8日目	9日目（退院日）
目標	発熱がない 心臓超音波で冠動脈に異常がない アスピリンが飲める 免疫グロブリンの副作用が見られない	発熱がない 心臓超音波で冠動脈に異常がない アスピリンが飲める 川崎病の症状がよくなる	症状再燃なく退院できる 家族が治療経過を受け入れられる 退院後の療養について理解できる
検査	症状の経過に応じて適宜血液検査、心臓超音波、心電図等を行いません。 おおよそ、入院中に心電図と心臓超音波検査は2～3回します   		
食事	発熱その他の症状に応じて、無理せず食事をすすめてください       		
処置・観察	 朝、昼、夜に体温、脈拍、血圧、酸素飽和度を測定します 発熱時には解熱剤を使用し、氷枕などを用意させていただきます 夜間も2時間置きに見回り、点滴の確認をさせていただきます お薬を飲むのが難しい時はお手伝いします アスピリンを服用しているため、出血しやすい状態です		 退院日は治療後一律に決まるものではありません 熱の持続状況やお子様の身体状況で変動します。 退院時にリストバンドをはずします
点滴・内服	 点滴をします 症状が安定すれば 点滴をはずします 解熱がみられなかった場合は免疫グロブリンを再投与します。 ★必要時ステロイドを投与します		
	 状況により医師の許可があればアスピリンは1日1回服用になります。		
行動	点滴治療が行なわれている間はベッドで安静に過ごしてください 症状の経過に応じて清拭、シャワーなどを実施します 清拭は月～金曜日の毎日、洗髪は月・水・金曜日に予定しています 着替えやタオル、シャンプーの準備をお願いします   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ※ お子様から離れられる時は、必ずベッド柵を最上段まで上げ、転倒・転落事故にご注意ください </div>  発熱がなければ、医師に確認のうえプレイルームで過ごすことができます		
説明	入院中ご心配なことはいつでも医師、看護師にお聞きください		 医師より説明 ・退院後の治療について 川崎病のカードをお渡しします  看護師より説明 ・退院後の治療について